

コロナ禍を振り返って



事務長 細見均

日本で最初に新型コロナウイルスの感染が確認されたのは2020年1月で60代の男性でした。あれから3年国内で感染された人数は約3千3百万人、亡くなられた人数約7万4千人。感染者は日本の人口の27%に相当します。今年の5月8日をもって感染症分類2類相当から5類に変更となります。この原稿を書いている4月は未だ2類相当ですが、行政からは移行後の対応を記した文書が多数送られてきています。

さてこの間の当院の対応はどうだったのだろうか？最初の感染は2020年12月に他院から転院されてきた患者様が初めての陽性でしたが、保健所の素早い対応で翌日にはコロナ対応病院に転院が決まりました。濃厚接触者は数名いましたが感染することなく収束。その後は職員の家族感染やデイケア通院患者様とご家族様の感染など、いつ院内で発生してもおかしくない状況が続きました。系列病院でのクラスター発生や近隣施設でのクラスターなど次々と暗いニュースが飛び込み、いつ当院にも起こり得るか緊張の日々。なんとか2021年は無事に乗り切りました。

しかし2022年8月25日、とうとう恐れていた院内での陽性者が出ました。感染力が非常に強いオミクロン株だと思われます。病棟内で感染防止のためのゾーニングを実施するも毎日のように感染者が増え続けました。看護職員にも感染者が続発し、外部からの応援を要請。当院の要請に応じて感染対応ができる4名の看護師が来てくれました。また不足していたN95マスクやガウンなど感染防護物資も複数の病院から届き、非常に助かりました。この紙面を借りてお礼申し上げます。

この度感染された患者様とご家族様には謹んでお見舞い申し上げます。感染が終息するまでの間ご家族様には多大なご迷惑とご心配をおかけしました。また院長始め連日連夜の激務にも耐えてくれた職員とそれを支えてくれた職員のご家族様に感謝いたします。

今回の経験を今後の感染対策に活かし、社会情勢および周りの病院や施設と足並みを合わせながら病棟の面会方法についても緩和を検討してまいります。少しでも多くの方々に笑顔が舞い戻りますようお願いしております。

【デイケア】は どんな事をしているの？

デイケアには精神科医師・看護師・作業療法士・心理士・精神保健福祉士の資格保持者がいます。認知症について取り組む専門職チームです。

～思いを知り、暮らしを知る～

人は心地よい環境や人間関係を知らず知らずに選び取って暮らしています。

『心地よい活動』が取り入れられた『心地よい居場所』が
アネックスデイケアです。



活動

思いや感情を活かす時間です。潜在的な能力を発揮できるようサポートします。

ランチ

お米炊き、テーブル拭きなどを協力しながら行います。役割を持つことを目的に楽しみながら行う時間です。

手段的日常生活動作（IADL）
手続き記憶訓練



健康相談

体温・脈拍・血圧などの確認と気がかりなことをお話できる身体と心の健康相談の時間です。

朝の会

時間・場所・1日の予定の確認・自己紹介・体操の時間です。

日常生活動作（ADL）
見当識訓練・自己開示・波長合わせ

語り手が紡ぐストーリー（ナラティブ）から感情の奥行に思いをはせる

麻雀というゲームがしたいのか？



麻雀が
したい



麻雀台を囲んでいる雰囲気が良いのか？

認知症初期

ナラティブな語りに着目
語りから本音を捉えます

認知症中期・後期

「感情」を考えて
熟考します。



何でも
おしゃべりの会

ベっぴんさん

カフェ

クッキング

足湯

メンバーの皆様お一人お一人が**主役**です。
ここで過ごした時間や
ここで出会った人とのつながりを感じながら
心地よい時間となりますように。

自慢のプログラムがたくさんあります！

一句の会



ファイト
クラブ

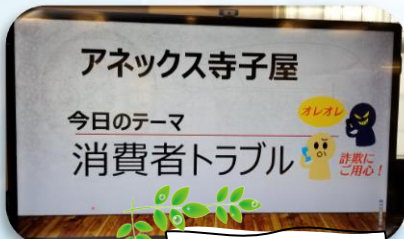


頭の体操



絵手紙

農園



寺子屋



アート



血管性認知症

平素よりお世話になっております、アネックス湊川ホスピタルの福本です。今回は血管性認知症、特に**予防** についての内容となります。

血管性認知症は脳の血管障害が原因となる認知症です。脳血管障害には脳出血や脳梗塞、循環不全や低酸素といった様々な病態があり、認知症の症状も、それに伴い多岐にわたります。記憶障害や失語、失行、失認以外にも、障害される脳の部位により視空間障害や運動麻痺も生じることがあります。他にも意欲低下やせん妄になることもあります。また以前にお話しさせていただいた、アルツハイマー型認知症と合併することもあります。血管性認知症の経過としましては、脳卒中後に認知症を発症すること、また脳卒中を起こす度に認知機能が階段状に増悪することが典型的であります。

血管性認知症の危険因子としましては、**加齢、運動不足、脳卒中の既往、高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満、喫煙**などがあげられます。そのため血管性認知症の予防はこれら危険因子へのアプローチが重要となります。**散歩などの運動**により、血管性認知症のリスクが減少されると言われております。また高血圧に関しては特に40歳から65歳までの**中年期の高血圧**に対する降圧療法が特に推奨されています。**糖尿病**は脳卒中の危険因子であり、治療や血糖コントロールが必要ですが、高血圧などの他の危険因子と併せて管理することが、より重要となります。血管性認知症の予防のためだけではございませんが、**高脂血症の治療、体重管理、禁煙**も重要となってきます。遺伝的な血管性認知症の病態もありますが、これらの**生活習慣病への対策**が、血管性認知症の予防の中心となります。

今この原稿を書いているのは、寒さも和らいで桜の花びらが舞っている最中です。当院の所在するしあわせの村には桜並木があり、年齢問わず花見に多くの方が訪れています。桜の後も新緑に包まれて、散歩をすると非常に健やかな気分になります。当院にお越しいただくことも歓迎いたしますが、血管性認知症予防のために是非しあわせの村にお越しいただければと思います。

院長：福本 修平

ぜひ認知症神戸市モデルの無料健診をご利用ください。☎ 078-743-0122

外来診療担当表 (2023年5月現在)

	月	火	水	木	金
初診	福本 桐村		桐村	福本 岡本	
再診	桐村	福本	桐村	岡本	福本

★受診は予約制です。

- 認知症初期鑑別診断
神戸市認知症診断助成制度
第1段階・第2段階 対応
- 入院治療
行動・心理症状治療
認知リハビリテーション
- 認知症在宅療養支援
外来 訪問看護 デイケア
- (地域コンサルタント業務)
市民向け講演 など

職員募集

常勤(正規職員・臨時職員)
パート職員
看護職・介護職
☎ 078-743-0122
担当:丸山

未経験者の方でも
大歓迎!

ホームページ
随時更新中!
ご覧ください。

〒651-1106
神戸市北区しあわせの村1-8
TEL: 078-743-0122 (代表)
TEL: 078-743-0201 (相談室)
FAX: 078-743-2030
平日: 9:00 ~ 16:00

